



Amazones(企業2)

永遠の中間発表

目次

1. Amazonesの想い
2. 解決をめざす社会的課題
3. 課題解決への取り組み
4. SAS期間中での活動と目標
5. 活動内容と成果
6. 今後への取り組み
7. 今までの感想、最後に

~~~~~構成員~~~~~

高野 秀美(大ボス)、 有馬 渚(中ボス)、
片貝 英行(裏ボス)、伊達 義隆、長岡 正敏、
藤原 周平、安村 幸太、渡部 慶太

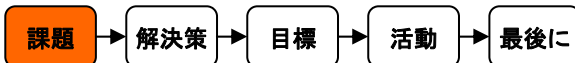
もっと社会に対して良いことをしたい！

もっと人の役に立ちたい！

日本を、そして世界を、もっと住み良くしたい！

そんな事を思ったことはありませんか？

2. 解決をめざす社会的課題(問題意識)



問題意識

社会的活動をするNPO、社会的活動をしたい人々
本当ならもっと連携しててもいいんじゃない？

欲求

- 人の役にたつ仕事がしたい！
- 今の仕事と能力が合っていない！

不安

- NPOって何やっているか分からない・・・
- ボランティアを募集しているところってどこだろう？何ができるのかな・・・



社会的活動をしたい人々

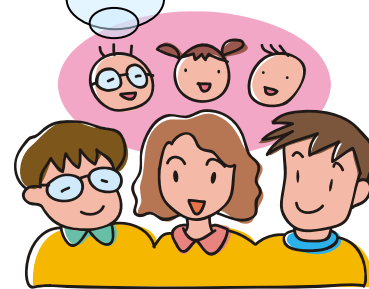
何かしらの壁があるんじゃないか

欲求

- 良い仕事してるのになぁ・・・
- 人もお金もスキルも足りないなぁ・・・

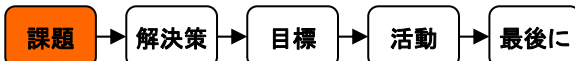
本心

- スキルがあり、共感してくれる仲間が欲しい！
- ボランティアしてくれるのはいいんだけど、管理するのも大変で・・・
- 安定して運営するお金が必要だなぁ・・・



社会的な活動をするNPO

2. 解決をめざす社会的課題(解決手法)



解決手法

一般の人とNPOの間にある敷居を下げる中間組織の構築

アマゾネスへの参加

- アマゾネスが精査した安心感のあるNPOへの参加ができる
- スキルと希望を踏まえ参加するため、自身の能力を生かせる
- 自分の真に望む活動ができる
- 会社、業種を超えた仲間



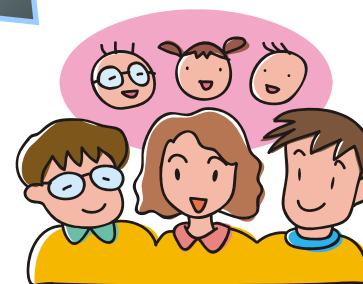
アマゾネスの受け入れ

- ボランティアが集まる。
- 必要な人材が得られる。
- プロジェクト単位で依頼するため、情報共有の手間で成果がでる
- 様々なスキルを持った専用チームが協働する

中間組織アマゾネス



社会的活動をしたい人々



社会的な活動をするNPO

3. 中間組織がターゲットとすべき分野(仮説)



■ 組織の要(ミドル)に入り込み、組織のパワーを引き出す仕組み作りを行う

- 団体スタッフのリソースを最適化するため、単純作業や若干の専門スキルを必要とする分野をプロジェクト化し、チーム編成したボランティアスタッフを派遣する。
- 1例として、以下のような事業展開上必要な作業を力技でできることをプロジェクト化して引き受ける。
 - イベント企画と募集
 - 企業向けの提案書などマテリアル作成
 - HPやIT環境の整備

	ミッション形成、 戦略策定領域	トップ、ミドル マネジメント領域	現場スタッフ領域	
			企画・計画・調整	当日スタッフ
専門性 高 ↑	コンサルなど専門家の対処領域 【悩み】 どのようにミッションを 理解してもらえるか 関わり続けてもらえるか	この領域の仕組みづくりと実働ができる人の マッチング 【悩み】 人材不足	スペシャルスキルを持っている人が 関わり、Win-Winを実現【稀なケース】	【悩み】 、中長期に渡って 何をどのように 依頼するか
↓ 低			【悩み】 NPOとしては 実働で引っ張られ たくない領域	

4. SAS期間中での活動と目標



活動内容

実際にNPOの支援することで、中間組織のあり方(仮説)を「一般の人としての視点」、「中間組織としての視点」から検証する

一般の人の立場として

アマゾネス(中間組織)として

活動の詳細

- ① 各自が若干のスキルある一般人として、個々人のスキルに合わせた方法でNPOに関わる。

- ① 具体的なプロジェクト複数起こし、内容をNPOと検討し、実践する。
- ② 本来は対象としないコンサルティング的スキルを用いた戦略立案やボランティアスタッフとして参加も行う。
- ③ 関わるNPOの選定、および複数のタイプのNPOに関わる。

目標とする結果

- ① 対象とするNPOが定量的に見て、関わる前よりパフォーマンスの向上が行われている状態にする。
- ② 一般の人として参加するために障害となる項目の洗い出しをする。

- ① 提案するプロジェクトごとの提携の諾否を得る。
- ② 戦略立案に関わり、財務の健全化策の実施や事業運営の見直し等がNPOに与える影響度合いを知る。
- ③ 様々なNPOが根本的に抱える共通の問題点を発見する。

5. 活動内容と成果(インパクト東京)



現在、NPOの抱える問題点を一緒に解決する中で、中間組織の在り方を検討中です。

■ インパクト東京(NPO登録名:ライフライツ)



定期講習:イントロコース風景

「襲われた場合の対策をシミュレーションして体に習得」

■ 団体理念:

『護身術を通して、自らの心と体を護るすべを身につけ、全ての女性と子供が人生の主演として生きる事をサポート』

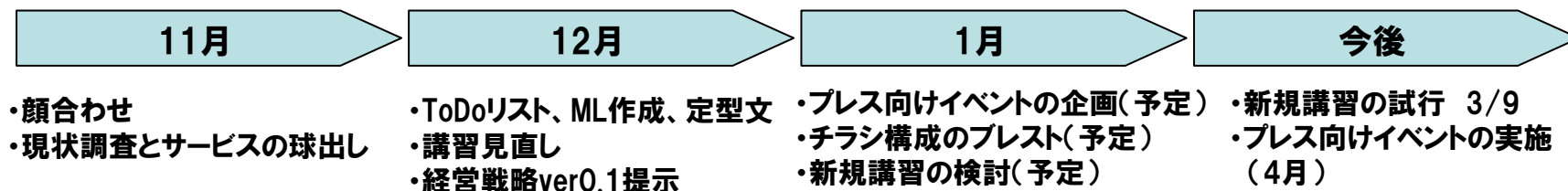
■ 活動内容:

セルフメンタルを重視した入門コース

実践的な護身術の習得を重視したイントロ・ベーシックコース

■ サービス内容: 戦略立案から実働ボランティアの全般的な協力

- 戦略立案(短期・中期・長期的な視点で持続可能な運営を行うため、ToDoリスト等)
- マーケティング(プレス向けイベント企画、チラシ構成の更新)
- 実働ボランティア(過去の参加者MLリストの作成、講習会場のリサーチ)



5. 活動内容と成果(WCI)



現在、NPOの抱える問題点を一緒に解決する中で、中間組織の在り方を検討中です。

■ World Campus International(NPO)



■ 活動内容:

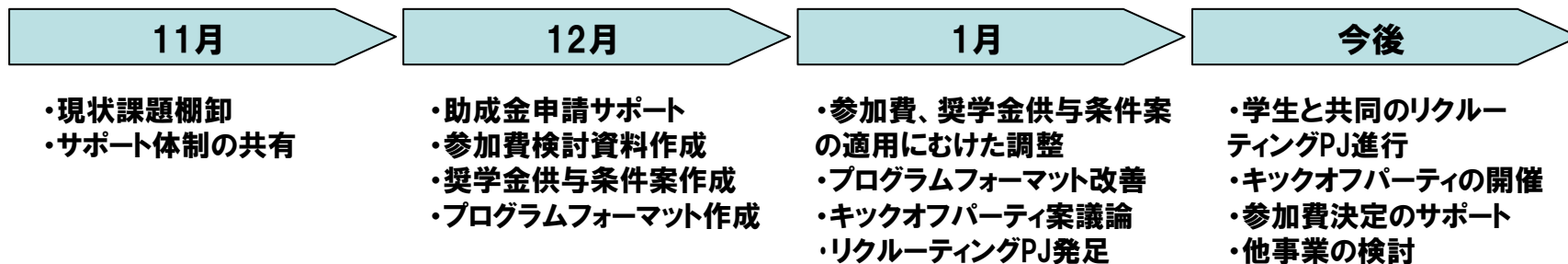
真の地球市民と、自発性のあるコミュニティを育てるための大前提となる・・・

⇒ 磐石な財務体制を築くための企画・実働

⇒ 効率的なプログラム運営の支援

■ サービス内容: SVP (中間組織)の戦略に基づく実働部隊の構築・実践

- 資金調達(助成金申請、プログラム参加費の検討、会員向けコンテンツのアイデアだし)
- 資金調達2(参加者募集@日本PJ)
- 運用最適化(地域用プログラムフォーマット、コンサルマニュアル等)
- キックオフパーティ(NPO総会)



5. 活動内容と成果(キッズドア)



現在、NPOの抱える問題点を一緒に解決する中で、中間組織の在り方を検討中です。

■ キッズドア(NPO申請中)

子供向けサイト



大人向けサイト



連携

■ 団体理念:

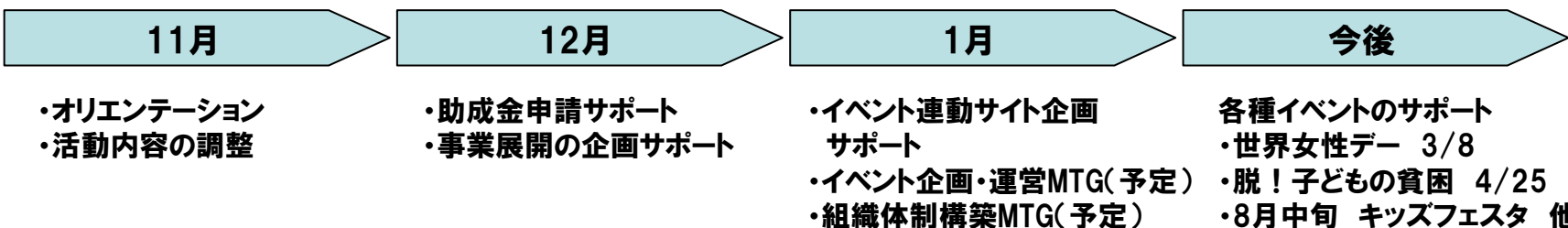
『子ども支援活動のプラットフォームとして、団体の枠を超えた交流の場をすることで、こども支援活動の効率化と、更なる促進をめざす』

■ 活動内容:

- こども向け情報サイト
- 大人向け教育・子育て・社会貢献情報サイト
- セミナー・イベント・ワークショップ事業
- こども支援活動のコンサルティング等

■ サービス内容: 以下の内容のディスカッションパートナー(シンクタンクの役割)

- イベント企画・運営
- 資金調達(助成金申請、会員制など収益システムの立上)
- 組織体制構築



5. 活動内容と成果(関連団体の声)



関連団体からの評価

総じて高い評価をいただいたばかり、特に狙っていた「**マネジメント領域**」と「**企画等の実働領域**」において顕著だった

当初の期待

- (Impact)
 - ✓細々とした実質的な作業
 - ✓個々人の専門性を生かしたサポートやアドバイス
- (WCI)
 - ✓現在の価値と将来性に対する外部評価
- (キッズドア)
 - ✓現在の価値と将来性に対する外部評価
 - ✓シンクタンクとしてのアドバイザー

期待に対する評価(具体例)

- (Impact)・・・満足している
 - ✓細々とした実質的な作業
 - ✓個々人の専門性を生かしたサポートやアドバイス
- (WCI)・・・満足している
 - ✓現在の価値と将来性に対する外部評価
- (キッズドア)・・・満足している
 - ✓現状整理や新規PJの議論の促進
 - ✓議論の中で生じた課題の解決
 - ✓キッズドアの活動への幅広いフォロー

ミッション形成、 戦略策定領域	トップ、ミドル マネジメント領域	現場スタッフ領域	
		企画・計画・調整	当日スタッフ
★★ ✓将来性の検討 ✓客観的視点からの 課題の発見と解決	★★ ✓活動スケジュールの 見直し ✓タイムマネジメント ✓課題の発見/解決 ✓外部情報の収集	★★★★ ✓魅力的な告知活動 ✓パーティの企画 ✓イベントMTGへの 参加や助言	✓今後の活躍を期待 する。

5. 活動内容と成果(アマゾネスの成果)

アマゾネスの 成果

NPOは人、金が慢性的に不足しているため一般の人でも少なからず貢献できる。またそれに伴い中間組織のあり方への示唆も得た。

一般の人の立場として

目標とする結果

- ① 対象とするNPOが定量的に見て、関わる前よりパフォーマンスの向上が行われている状態にする。
- ② 一般人として参加するために障害となる項目の洗い出しをする。

実働した感想

- ① A. NPOに貢献できることは**たくさんある**
B. 3ヶ月という**短期的な**期間では定量的な成果を上げるには**難しい**
- ② C. メンバーの各々もつ仕事の都合のためにチームとしての**情報共有**が**難しい**
D. 活動範囲が**広範**になり**成果を出しづらい**

構築への示唆 得られた中間組織

- ① 活動期間を限定する(半年以上)または、**引継ぎを促す仕組み**を構築する必要がある
- ② 初期段階で**情報共有の仕組み**提供と、**定期的MTG**の実施の必要がある
- ③ **活動範囲の線引き**(※)を中間組織がアドバイザーとして実施する必要がある
※ 期間的線引き、支援分野の線引き

5. 活動内容と成果(アマゾネスの成果)



アマゾネスの 成果

NPOは人、金が慢性的に不足しているため一般の人でも少なからず貢献できる。またそれに伴い中間組織のあり方への示唆も得た。

アマゾネス(中間組織)として

目標とする結果

- ① 提案するプロジェクトごとの提携の諾否を得る。
- ② 戦略立案に関わり、財務の健全化策の実施や事業運営の見直し等がNPOに与える影響度合いを知る。
- ③ 様々なNPOが根本的に抱える共通の問題点を発見する。

実働した感想

- ① ① 第三者的な視点として、**組織に対する外部評価や、イベントの企画運営**等がニーズがある
- ② ② **NPOのミッションに関わるため**戦略立案までは踏み込みにくい
- ③ ③ 多くのNPOは人、モノ、金が不足しており、**持続的に金や人を集めるスキームを作る必要**もあることを理解した。

構築への示唆 得られた中間組織

- ① **第三者視点**で支援することに優位性がある
- ② **活動範囲の線引き**(※)を中間組織がドライブし双方の立場を公平に保つ
※ 支援分野の線引き
- ③ 活動本体の支援だけでなく「**金、人を集めるスキーム**」は中間組織として提供できるプログラムになりうる

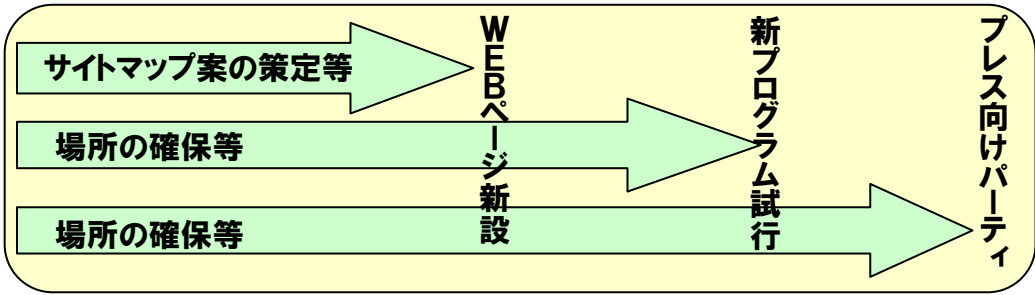
6. 今後への取り組み(活動の継続)



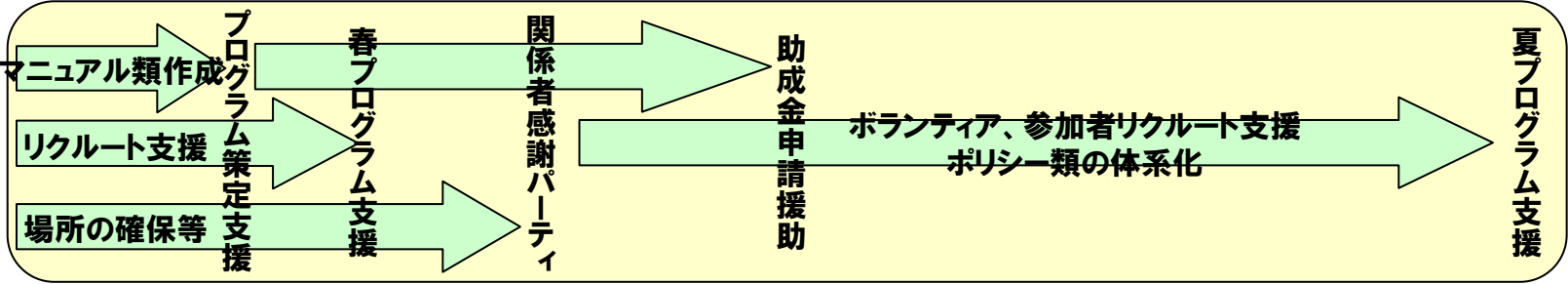
今後の取組方針 関わらせていただいたNPOと持続して協働できるよう信頼関係を維持、強化できるよう、現在進行中のプロジェクトを推進していく



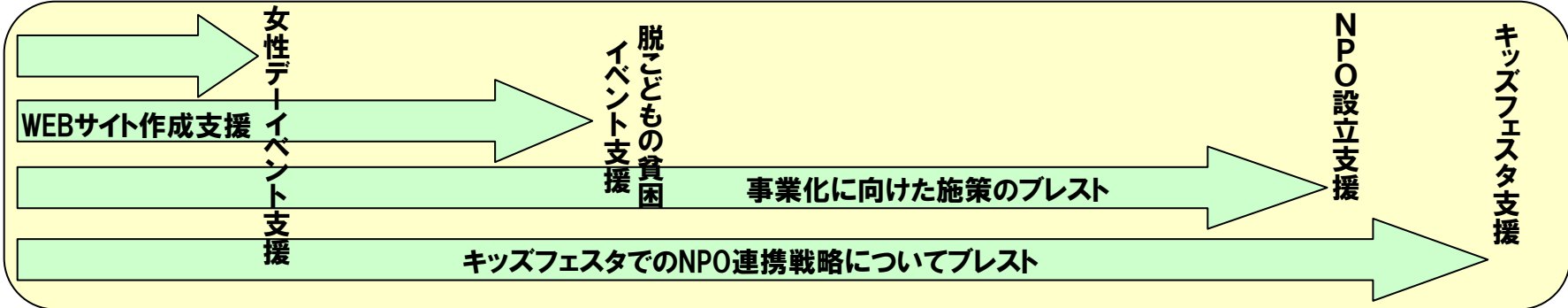
インパクト東京



WCI



キッズドア

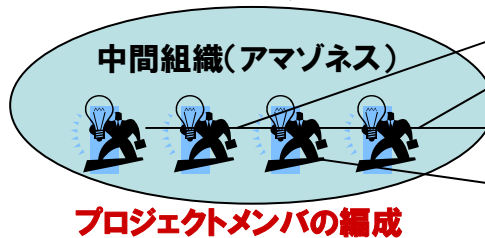


6. 今後への取り組み(その先へ)

未来へ向けて NPO化、企業化、事業の他団体への譲渡も踏まえ、今後の展開について検討中(今年中に結論を出す予定)

■ 事業化案(一例)

- 企業のCSR活動やボランティア休暇との連携を図り、各企業からの資金と人材を調達する。
- 各業界の垣根を超え人材を集め、プロジェクトを組み、各NPOへ支援団を送りこむ。



※組織の重要課題に係わる関係上、リスクマネジメントにも取り組む必要あり。
 ○予防措置として、機密保持に関して、NPOと係わる前に研修を行うと共にメンバーと秘密保持契約を締結する。
 ○危機管理については、あらかじめ方針を策定すると共に、万が一の場合は、NPOと協働して最適な対策を協議の上、速やかに実行する。



サービスメニュー

- 対企業(CSR担当者向け)**
 <CSRサポートサービス>
- 求人情報提供
 - 参加結果報告
 - CSRレポート作成支援
 - ビジネスマッチング支援
 - スキルアップ研修

- 対企業(従業員向け)**
 <マッチングサービス>
- イベント企画・運営
 - 広報
 - 営業
 - 資金調達
 - ソーシャル・インパクト測定

- 対社会的活動の担い手**
 <NPOサポートサービス>
- プロジェクト化推進
 - スタッフコーディネイト支援
 - 募集文書作成、選考支援
 - 資金調達支援
 - 実働連動型研修プログラム
 - ソーシャル・インパクト測定

活動により
得たモノ

一番の成果は、素晴らしい仲間との出会い！！

